

日本語・日本事情

Japanese Language & Culture

教授 鎌田 倫子 Tomoko Kamada

◆ 研究概要

日本語文法を中心とする日本語学，日本語教育方法の研究，異文化理解教育，言語教育プログラムの評価研究を行っている。平成 23-25 年度科研基盤研究 C「日本語教育プログラムにおけるエンパワメント評価の実践」の最終年度として，引き続き，杉谷キャンパス日本語プログラムでエンパワメント評価を実施した。アメリカ評価学会のメンバーを外部評価員として招き，「第 3 回エンパワメント評価ワークショップ」を実施した。さらに，学内のメンバーでエンパワメント評価会議を続け，学習者と学生チューターのフォーカス・グループ・インタビューを実施した。フォーカス・グループ・インタビューから，学習者と学生チューターの意識の変化をまとめ，評価実践研究の成果を，日本語教育学会誌やアメリカ評価学会 2013 で発表した。

◆ 原 著

- 1) 鎌田倫子，中河和子，後藤寛樹．日本語教育プログラムとエンパワメント評価－困難な日本語プログラムを如何に支援できるのか－．日本語教育．2013 Aug ; 155 : 95-110.
- 2) 中河和子，鎌田倫子，飯野令子．エンパワメント評価実践においてエンパワメント文脈はどのように高められたか－当事者意識に着目して－．富山大学杉谷キャンパス一般教育研究紀要．2013 Dec ; 41 : 89-106.

◆ 学会報告

- 1) Kamada T, Nakagawa K, Watanabe Y. Inducing empowerment evaluation: a case study at a Japanese university. American Evaluation Association 2013 Conference; 2013 Oct 14-16; Washington D.C.

◆ その他

- 1) 渡邊有樹子（講師）．評価目標とルーブリック．第 3 回エンパワメント評価ワークショップ（杉谷キャンパス日本語教員会議主催）；2013 Sep 1-2.